

## トピックス

### 平成 24 年度 上半期の展示・行事から

#### 企画展「新たな国民のたから—文化庁購入文化財展—」8月25日(土)～9月30日(日)

文化庁が近年購入した文化財 42 件が展示され、好評のうちに幕をとじました！

絵画、書跡、能面と装束、彫刻、漆器・陶器という 5 つの分野から、後世まで伝えたい文化財 42 件を厳選。そのうちの 20 件が国指定重要文化財、2 件が重要美術品です。また、雪村や与謝蕪村など、茨城にゆかりのある画家の作品も見どころのひとつでした。

本展のような文化庁購入文化財展は、名古屋市博物館、仙台市博物館、岡山県立博物館に続き、地方の博物館での開催は第 4 回を数えます。普段は、東京、奈良、京都、九州の国立博物館に保管されている数々が、今年は茨城県立歴史館に集まってきたとあり、本展示を聞きつけご覧になったお客様は、身を乗り出して文化財の数々に見入っていらっしゃいました。



展示解説の様子

展示されたほんの一部をご紹介します  
でも写真より実際、間近に鑑賞した折の  
その優美さまでお伝え出来ないのが残念です



胴箔腰明木瓜格子文様縫箔 並笛図(部分)  
(文化庁保管)

展示を見逃してしまった方に朗報です！今展示に合わせて、文化庁が作成したパンフレット—今展示 42 件すべての作品について紹介されています(オールカラー)—ご来館の皆様が無償で配布しております。なくなり次第終了とさせていただきますのでお早めどうぞ。

#### 歴史館探検ツアー 6月17日(日)

26名の隊員が博物館の興味深い裏側を元気に探検しました。

集まった隊員は、事前に申し込んでいただいた 26 名の小学生とその家族。解説員の案内で、閲覧室の書庫、機械室、展示資料などを運ぶ大エレベーター、考古収蔵庫、文書整理保管庫など、普段は入ることができないエリアに足を踏み入れ興味深げに辺りを見回す姿や、当館研究員の質問に元気に答えを投げ返す姿が見られました。

特に、当館の川又清明首席研究員による塩づくりの説明では、産地や製法の異なる 3 種類の塩の味比べも行われました。「岩塩の方がしょっぱい。」「海水で作った塩の方が苦いかな。」などと、じっくりと味わい感想を述べてくれました。

塩づくりの詳しい内容は、10月13日（土）から当館で開催される特別展「霞ヶ浦と太平洋のめぐみ—塩づくり—」でさらに明らかにされます。

次回の探検ツアーは、探検コースも一新し、12月16日（日）に開催されます！



文書整理保管庫の様子



塩づくりについて学ぶ隊員たち

### 親子歴史教室「勾玉づくり」 7月15日（日）

当館の人気イベントの一つ「勾玉づくり」を親子で行う教室が行われ、事前申し込みいただいた60名の方々が、古代のアクセサリーづくりに熱心に取り組みました。「勾玉」とは、古代において祭事を行う人や位の高い人がネックレスのようにして身につけていた装身具です。メノウ、ヒスイ、コハクなどで作られましたが、現代の皆様には、手軽に取り組んでいただける「ろう石」を使っています。

紙やすりで形づくり、さらに目の細かいやすりで水をつけながら磨くことにより、きれいに仕上がります。中にはヒョウタン型やハート型など、個性的な形も見られました。思い通りに仕上がったお子さんからは「磨くのが大変だったけど、またやりたい。」という感想が聞かれました。

次回の「勾玉づくり」は、平成25年2月17日に行われます！



勾玉づくりの様子

お父さんお母さんも一緒に一所懸命つくりました

### 歴史館まつり 8月25日（土）・26日（日）

25日（土）は、映画会と歴史講演会が行われました。川又首席研究員による講演会「塩づくり」は、この秋の特別展「霞ヶ浦と太平洋のめぐみ—塩づくり—」に向けたもので、その歴史に関心の深い約60名が集いました。

26日（日）は、当館が担当する展示解説や民家解説、よろい・かぶと体験、勾玉づくり、歴史館ウォークラリー、いにしへのピアノ体験の他、新莊小による管楽コンサート、県警コンサート、はしご車・地震・シートベルトなど各種体験車、昔遊び・体験遊び、カプラ（フランスの積木）、移動博物館、海の生き物タッチング、水戸第二高等学校によるお茶会、お菓子・アクセサリー販

売、水戸農業高等学校による生産物販売、茨城大学の学生による大道芸など、多くのイベントに、3,500人を超える方々が集まりました。

特に、わくわくドキドキ子ども体験広場やミュージアムパークの移動博物館などが人気で、1日中にぎわいを見せていました。また、当館の人気イベントの勾玉づくりにも多くの方が参加しました。

ご家族でお越しの方も多く、小さいお子様からお年寄りの方まで楽しんでいただき、「展示解説や民家解説がおもしろかった。聞いてみて初めて分かることがたくさんあった。」「1日中楽しめました。」「お茶会でおいしいお茶とお菓子がいただけてよかった。」など、うれしい感想が多く寄せられました。

当館2大まつり！もう一方の秋の「歴史館いちょうまつり－「和の文化」の祭典」は、11月3日(土)～11月25日(日)に開催します。どうぞお楽しみに！



歴史館まつり会場の様子



県警コンサートの様子

### 歴史教室「一橋領とその支配」 9月8日(土)

当館の柳橋首席研究員による歴史教室が行われました。

田安・清水両家と共に御三卿と呼ばれ、将軍家の身内として下総国など計10万石を分け与えられた一橋徳川家。下総国結城郡矢畑村(結城市矢畑)を中心に上げ、一橋領における支配の新たな一面を紹介した今回の歴史教室には、約130名の方々が集いました。

18ページにわたる資料を手に、熱心に聞き入る参加者の皆様の姿がありました。

次回の歴史教室 12月8日(土)「水戸藩に集まった家臣たち」

【担当】当館資料調査専門員 野内 正美

次回の茨城大学地域連携講座

12月15日(土)「藩体制から府県制へー明治維新期の地域編成をめぐってー」

【担当】茨城大学人文学部長 佐々木 寛司 氏



歴史教室の様子

## 史料紹介展「史料にみる安政江戸地震」展示解説 9月16日(日)・9月22日(土)

安政江戸地震は、安政2(1855)年10月2日に発生したマグニチュード7前後の大地震であったとされています。その余波は、もちろん水戸藩にも及びます。本展の史料は、村役人の当日の様子を記した日記、互いの安否を気づかう手紙、江戸屋敷の復興のために木材や費用や人足を送る内容の文書、さらには、後の江戸幕府15代将軍徳川慶喜の婚儀が延期される旨の文書など24点で、当時の混乱ぶりや人情を垣間見ることのできる内容でした。これらは、茨城県内に残されていた古文書で、当館で閲覧可能です。

また、参考展示の版画「鯰絵(なまずえ)」は、大震災をもユーモラスに捉えた江戸庶民のたくましさを感じる10点。

展示解説は午前と午後の各2回行われ、のべ90名の方々が集いました。担当の笹目首席研究員が古文書や鯰絵に記された内容をこまやかに説明すると、時折笑い声も上がり、江戸時代の人々のたくましさや当時の世相をご理解いただけたと思います。



展示解説の様子

他、上半期には沢山のイベント・行事が行われました。

下半期にも皆様にお楽しみ頂けるようなイベントをご用意してお待ちしておりますので、どうぞお気軽にお越し下さい。

各行事などについてのお問い合わせは、

茨城県立歴史館 教育普及課 電話 029-225-4425

または、ホームページの「お問い合わせ」からメールをお送りください。

### お知らせ

特別展開催期間中10月13日(土)～11月25日(日)の土曜・日曜・祝日に挽きたてコーヒーをお楽しみ頂ける喫茶コーナーを開設致しました。皆様のおいでをお待ちしております。



11月2日(金)・9日(金)・16日(金)は、午後8時まで開館します！お仕事帰りに、ゆっくり、展示をご覧になってはいかがでしょうか。

11月13日(火)・17日(土)・18日(日)は、入館無料です！お誘い合わせの上ご来館下さい。